

平成 24 年 4 月 24 日

プレスリリース

第 2 5 次南極海鯨類捕獲調査の土産品の生産と取り扱いについて

共同船舶乗組員に対する土産・分譲品については、乗組員（全 1 7 2 名）の要望を取りまとめ、クロミンククジラで生産を行い、次のとおり配布しました。

(1) 土産については、乗組員から希望を募り、冷凍畝須であれば、一人当たり 1 本（1 本約 4 k g）、また、赤肉であれば 4 個（1 個約 0. 8 ~ 0. 9 k g）を配布した。

この結果、配布量は、冷凍畝須については 1 4 7 名に合計約 5 8 8 k g、赤肉については 1 9 名に合計約 6 3 k g となった。

(2) 分譲品については、乗組員から希望を募り、冷凍畝須であれば、一人当たり 1 本、赤肉であれば 1 0 個を上限として販売した。

その結果、冷凍畝須については 1 4 9 名に合計約 3 1 6 k g、赤肉については 1 4 9 名に合計約 9 2 7 k g の販売となった。

(3) 実施・管理の透明性を確保するため、共同船舶が船内で一括管理し、下船後、全てとりまとめ、乗組員個人宛に送付した。

(4) 当該鯨肉代金の精算は、共同船舶が日本鯨類研究所に対し、4 月に決定された販売価格に基づいて行うこととしている。

問い合わせ先：

共同船舶株式会社

伊藤（電話：03-5547-1930）